

# APNIC 54に向けた意見交換ミーティング

2022.08.29

JPOPF運営チーム

#	Status	提案名
prop-145	新規提案	ポリシー文書における用語定義の統一化 Single Source for Definitions
prop-146	新規提案	対象的な見出しと内容の整合 Aligning the Contrast
prop-147	新規提案	歴史的経緯を持つリソースの管理 Historical Resources Management
prop-148	新規提案	アドレスリソースのリースの禁止 Leasing of Resources is not Acceptable

※ 「prop-141: IPv4アドレスの最大割り振りサイズの512(/23)から768(/23+/24)への変更」は、修正提案が提案者より提出されなかったため、APNIC 54でのコンセンサス確認は行われません。

## **prop-145:**

ポリシー文書における用語定義の統一化

Single Source for Definitions

- APNICのいくつかのポリシー文書の散在している用語の定義を、1つの文書に集約する提案です。
  - 定義がで散在することにより、一貫性がなく異なる解釈や混乱を招いていると提案者は指摘しています。
- APNIC-080:APNIC Definition Documentという文書がすでに存在しているため、このAPNIC-080に定義を集約することを提案しています。

<参考> APNIC-080 APNIC Definition Document

<https://www.apnic.net/about-apnic/corporate-documents/documents/corporate/definitions/>

## **prop-146:**

対象的な見出しと内容の整合

Aligning the Contrast

Aligning the Contrast

- APNICポリシー文書のセクション3.1配下のいくつかの項目において、見出しと内容の整合が取れていないように読み取れることから、見出しの変更等を行う提案です。

## Aligning the Contrast

## 現文書

**3.1.4. 連続した委譲の非保証**

RIR は、現在保有する過去の割当てと後続の割当てが連続する可能性を最大化するような実務を適用すべきである。しかし、連続した割り当てを保証するものではありません。

APNICは、後続の委任が過去の委任と連続するように試みますが、これが可能であることを保証するものではありません。

**3.1.8. 目標の相反**

上記の目標は、互いに、あるいは個々のIRやエンドユーザのニーズと相反することが多い。アドレス空間に対する要求を評価する全てのIRは、申請者のニーズとインターネットコミュニティのニーズのバランスを求め、判断を下さなければならない。

この文書は、IRが一貫した公平な方法でその役割を果たすのを支援することを目的としています。IRは、意思決定プロセスの完全な文書化と透明性を維持しなければならない。

IPv6アドレスポリシーにおいては、集約の目標が最も重要であると考えられる。

## 提案文書

**3.1.4. 委譲の保証**

RIR は、現在保有する過去の割当てと後続の割当てが連続する可能性を最大化するような実務を適用すべきである。しかし、連続した割り当てを保証するものではありません。

APNICは、後続の委任が過去の委任と連続するように試みますが、これが可能であることを保証するものではありません。

**3.1.8. 目標のバランス**

上記の目標は、互いに、あるいは個々のIRやエンドユーザのニーズと相反することが多い。アドレス空間に対する要求を評価する全てのIRは、申請者のニーズとインターネットコミュニティのニーズのバランスを求め、判断を下さなければならない。

この文書は、IRが一貫した公平な方法でその役割を果たすのを支援することを目的としています。IRは、意思決定プロセスの完全な文書化と透明性を維持しなければならない。

IPv6アドレスポリシーにおいては、集約の目標が最も重要であると考えられる。

**prop-147:**

歴史的経緯を持つリソースの管理

Historical Resources Management

## Historical Resources Management

- 歴史的経緯を持つIPv4アドレスの利用者は、2023年1月1日までにAPNICの会員もしくは非会員になることが求められ、またこの期日を超えたりソースはAPNICの予約済みリソースとなることが、2021年2月22日にECで決議されました。
- 本提案では、IPv4アドレスが予約済みとなった後、6ヶ月もしくは12ヶ月後までに元の利用者からの申告がなければ、そのアドレスを再度移譲可能なアドレスプールに移動することを提案しています。

**※ JPNICの歴史的PIアドレスは、本提案には含まれません。**

## 現文書

### 4.2.1. 未使用の歴史的経緯を持つリソースの回収

APNICのWhois データベースに登録されている歴史的経緯を持つリソースのうち、グローバルルーティングテーブルに広報されていないものが相当数あります。

これらのグローバルルーティングされていないリソースを回収し再委譲のためにフリープールに戻すために、APNICは1998年1月1日以降グローバルルーティングされていない歴史的経緯を持つアドレスのネットワーク責任者に連絡を取ります。

広報されていない歴史的経緯を持つAS番号を回収するために、APNICは妥当な期間グローバルに使用されていないリソースのネットワーク責任者に連絡を取ります。

## 提案文書

### 4.2.1. 未使用の歴史的経緯を持つリソースの回収

APNICのWhois データベースに登録されている歴史的経緯を持つリソースのうち、グローバルルーティングテーブルに広報されていないものが相当数あります。

これらのグローバルルーティングされていないリソースを回収し再委譲のためにフリープールに戻すために、APNICは1998年1月1日以降グローバルルーティングされていない歴史的経緯を持つアドレスのネットワーク責任者に連絡を取ります。

広報されていない歴史的経緯を持つAS番号を回収するために、APNICは妥当な期間グローバルに使用されていないリソースのネットワーク責任者に連絡を取ります。

### 4.3. 歴史的経緯を持つ資源の管理

元のリソース管理者によって申告のなかった歴史的経緯を持つリソースは、2023年1月1日以降APNIC Whoisデータベースから削除され、reservedとマークされます。

reservedとマークされてから[6ヶ月|12ヶ月]以内に元のリソース管理者から申告がない場合、APNICはこれらのリソースを再委譲するために利用可能なプールに追加します。

## Historical Resources Management

<参考>

APNIC EC Meeting Minutes 22 February / 04 March 2021 p.7

### 18. Proposed historical resource fees

Following from discussions earlier, which included the EC's consideration of various alternatives, the following resolutions were proposed.

**Resolution 2021-09: The EC resolved that all historical resource holders will need to become, or remain, a Member or Non-member of APNIC on and from [1 January 2023], in order to continue to receive registry services from APNIC.**

**Resolution 2021-10: The EC resolved that on and from [1 January 2023], historical address holdings will not be taken into account when calculating annual fees for APNIC Members and Non-members.**

**Resolution 2021-11: The EC resolved that the Registry Database Maintenance Fee will be removed from the APNIC Non-Member Fee Schedule, with effect on and from [1 January 2023].**

**Resolution 2021-12: The EC resolved that on and from [1 May 2021], RPKI services will be made available for all historical resources held by APNIC Members or Non-members.**

Motion proposed by Gaurab Raj Upadhaya; seconded by Kenny Huang. Passed unanimously.

[https://www.apnic.net/wp-content/uploads/2021/06/FINAL\\_merged\\_EC\\_meeting\\_minutes20210222\\_0304\\_public\\_final.pdf](https://www.apnic.net/wp-content/uploads/2021/06/FINAL_merged_EC_meeting_minutes20210222_0304_public_final.pdf)

## Historical Resources Management

## &lt;参考&gt;

## APNIC 2021 Annual Report p.6

2021 ANNUAL REPORT

## WELCOME FROM THE EXECUTIVE COUNCIL CHAIR

On behalf of the Executive Council (EC), welcome to APNIC's 2021 Annual Report.

I'm glad to say that year two of the global COVID-19 pandemic is behind us. It was another challenging year for all industries, APNIC Members, and our community.

Throughout, the demand for Internet Number resources and related information services, training and development assistance continued unabated. As you will see in the following report, it was a busy year for APNIC. It was also an eventful year for the Internet numbering community globally.

As I look back on 2021, there are a couple of notable developments I'd like to highlight.

**Welcoming all resources to routing security.**

At the EC's February/March meeting, the EC resolved that RPKI services would be made available to all historical resources held by APNIC Members and Non-Members. Improving routing security is critical to the health and stability of the Internet globally and APNIC is committed to supporting RPKI adoption in the region.

As part of these changes, the EC resolved that historical resource holders in the APNIC region would need to become Members or Non-Members by 1 January 2023 to receive registration services. While regular annual fees will be payable, historical resources will NOT be considered in the calculation of those fees.

These decisions by the EC aimed to provide holders of historical address space with access to RPKI services – a known previous source of frustration – while minimizing their ongoing costs.

In 2022, historical resource holders will need to begin the transition to APNIC membership. If your organization falls into this category, you'll hear more from the Secretariat as the year progresses.

**Maintaining the integrity of the global registry system.**

A dispute between AFRINIC, the RIR for Africa, and one of its Members gained global attention in 2021. The dispute is ongoing, so I will not get into the specifics of the issue.

However, the case gained international attention after an order granted by the Mauritian courts froze AFRINIC's bank accounts, restricting its access to funds. It was an unusual action – that was soon lifted – but at the time it caused some concern among the community, with questions raised about the sustainability of AFRINIC and the RIR system.

2  
stood ready to provide should it have been required.

On this occasion the Stability Fund did not need to be called upon. The smooth operation of the Internet numbers system has continued while this legal process progresses towards a conclusion.

It is important to understand that while Internet number resources are managed by regional bodies, the RIR system is global, and cooperation between RIRs and cooperation in our global community make it resilient. APNIC and the NRO continue to stand ready as needed to help, for as long as needed.



すべてのリソースをルーティングセキュリティに迎え入れる ECは2月/3月の会合で、APNIC会員および非会員が保有するすべての歴史的経緯を持つリソースにRPKIサービスを提供することを決議しました。ルーティングセキュリティの向上はインターネットの健全性と安定性にとってグローバルに重要であり、APNICは地域におけるRPKI採用の支援に尽力しています。

これらの変更の一環として、ECはAPNIC地域の歴史的経緯を持つリソースの保有者がレジストリのサービスを受けるには、2023年1月1日までにメンバーまたは非メンバーになる必要があることを決議しました。通常の年会費は支払いが必要ですが、歴史的経緯を持つリソースは年会費の計算には含まれません。

ECのこれらの決定は、これまで不満の種であった歴史的アドレス空間の保有者にRPKIサービスへのアクセスを提供する一方で、継続的なコストを最小化することを目的としています。

2022年には、歴史的資源保有者はAPNIC会員への移行を開始する必要があります。あなたの組織がこのカテゴリーに該当する場合は、年が明けると事務局から詳細が発表されるでしょう。

## **prop-148:**

アドレスリソースのリースの禁止

Leasing of Resources is not Acceptable

## Leasing of Resources is not Acceptable

- 現在のAPNICポリシー文書では、明示的にアドレスリソースのリースは禁止されていませんが、本提案ではアドレスリソースのリースを禁止し、リースされていることが発覚した際にAPNICがそのアドレスの委譲を取り消すことなどを明記した文章を追加する提案です。
- なお本提案がコンセンサスとなった際は、NIRも同様に実装するよう要求されています。

## Leasing of Resources is not Acceptable

## 提案文書

**5.8.インターネット番号リソースのリース**

インターネット番号リソースの場合、必要性の正当化は顧客を直接接続することを含んでいる。そのためIPアドレスのリースは、少なくとも直接接続を前提としたサービスの一部でなければ、いかなる形態も許容されないし必要性を正当化するものでもない。インターネットに接続されていないネットワークであっても、APNICや関連するNIRに直接割り当てを申請することが可能であり、またIPv4の場合はプライベートアドレスの利用や市場を通じた移転ができるため、IPアドレスのリースは認められていない。

APNICの調査により何らかの形でリースが確認された場合、APNICはリースしているアカウントホルダーや、最初のリクエストで指定されていない目的で使用しているアカウントホルダーのIPリソースを取り消すことができる。

***JPOPF-ST***